

自然科学書フェア 視察報告

今年の自然科学書フェアは、沖縄県那覇市のジュンク堂書店那覇店で、5月22日～7月2日まで開催しました。

最終日にあたる7月2日に、村上販売・出展委員長、鈴木販売・出展副委員長と私の3名が現地を訪問し会場を視察してまいりましたので、ご報告いたします。

今回のフェア開催に際しては、当初委員6名による棚詰め・設営作業を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮して人員を半数に減らし、急遽現地書店スタッフの方々に協力を依頼し、協働といたしました。また、このたびの視察も当初は6月18日の予定でしたが、緊急事態宣言の影響により日程変更を余儀なくされるなど、昨年同様、新型コロナウイルスに翻弄される形となりました。

店舗2階の会場で、店長の森本様と九州・沖縄地区エリアマネージャーの細井様、トーハン沖縄営業所長の小暮様と面会しました。

会場エリアは、ブルーを基調とした当フェアのポスターやチラシ、パネルの飾り付けで一目でそれと分かる空間が創り出されており、棚もよくメンテナンスされていました。

まず村上委員長から、コロナ禍のもと予定通りフェアを開催して下さった御礼を申し上げ、森本店長からは、当会から進呈した作業協力金について感謝の言葉をいただきました。店舗としては、沖縄県の緊急事態宣言発令に伴い閉店時間を早める措置をとり、来客数の減少など影響はあるものの、ジャンルによっては巣籠りによる需要の増加もみられる、とのお話でした。当フェアにおいても、2018年に同店で開催した際の実績には及ばなかったものの、「ぜひまた当店で開催してください」とおっしゃっていただくことができました。

出来ることならば、更に意見や情報を交換し交流を図る席を設けたいところでありましたが、現下ではそうともゆかず、後ろ髪引かれる思いで店をあとにしました。

会員社の皆様には多くのご出品・ご協力を賜り、ありがとうございました。今回のフェアは展示点数1,057点・2378冊、販売実績322冊でした。

本年9月には、丸善津田沼店にて「自然科学書フェア 2021 秋」を開催いたします。

こちらも引き続きご理解とご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

(販売・出展委員会 フェア小委員長 山内 裕)

